実習名称：静岡の茶を極める−お茶摘みとお茶づくり−

担当教員：浅井辰夫ほか（静岡大学農学部）

実施時期：平成２６年５月３日（土）～５月４日（日）

集合時刻：平成２６年５月３日（土）１０：００

集合場所：JR焼津駅北口

アクセス方法：

○JR「静岡駅」から，東海道本線下り方面に乗車。3駅目（約13分）。

○焼津駅から実施場所まではバスで送迎。

実施場所：静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター　藤枝フィールド

　〒426-0001静岡県藤枝市仮宿63

　Tel:054-641-9500，Fax:054-644-4641，E-mail: nojojimu@adb.shizuoka.ac.jp

対象学生：国内の大学及び短期大学の学生，高等専門学校の4年次以上の学生

定員：３０名（応募多数の場合，選考の可能性があります。）

実習課題：静岡の特産品であるお茶の栽培管理から製造までの特徴を理解する

実習内容：藤枝フィールドに集合し，初日はまず茶の栽培と製造に関する講義を受講する。受講後に茶畑にて手摘みを実習する。手摘み実習後，製茶機械によるお茶づくりを実習しながら，紅茶づくりも並行して実習し，各製茶工程の共通点や差異を学習する。2日目は手もみを実習し，初日に学習した製茶工程との共通点や差異を学習し，それぞれの製茶工程の意義を理解する。実習後に自分たちが製造した茶を試飲する「茶話会」を開き，学習した内容の意見交換を行った後，解散する。

実習日程：

　第１日：JR焼津駅北口集合，バスにて藤枝フィールドへ移動

　　　　　ガイダンス，藤枝フィールド案内

　　　　　講義「茶の栽培と製造」

　　　　　手摘み・お茶づくり（製茶機械・紅茶手もみ）

　　　　　藤枝フィールド泊

　第２日：手もみ

　　　　　茶話会（試飲・意見交換）

　　　　　バスにてJR焼津駅へ移動，解散

参加費用：未定（JR焼津駅までの交通費，食費等は実費負担）

受入身分：国立大学の学生または静岡大学と大学間相互単位互換協定を締結している大学もしくは短期大学の学生は特別聴講学生として受け入れる。協定の有無は各派遣大学等において確認すること。

提出書類：下記，IとIIの受入身分の違いによって提出期限，提出書類と提出先が異なるので注意すること。

I．特別聴講学生となる場合（~~平成２６年２月２８日（金）４月４日（金）締切~~　募集を締め切りました）

~~以下の書類を所属する大学の学務係等から提出すること。~~

~~①依頼書（別紙様式１）~~

~~②履修願（別紙様式２）~~

~~③学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー~~

~~提出先：静岡大学農学部学務係~~

~~住所：〒422-8529　静岡市駿河区大谷836~~

~~TEL ：054-238-4815~~

II．特別聴講学生とならない場合（平成２６年~~２月２８日（金）~~４月４日（金）締切）

以下の書類を提出すること。

①受講願（別紙様式３）

②学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー

提出先：静岡大学農学部附属地域フィールド科学教育研究センター　藤枝フィールド

　　住所：〒426-0001　藤枝市仮宿63

　　TEL ：054-641-9500

保険について：学生教育研究災害保険等の傷害保険に必ず加入すること。また，旅行保険に加入することを推奨する。なお，保険加入にあたっては，家族等とよく相談すること。

成績評価及び単位認定について：受入身分によって異なる。

I．特別聴講学生の場合

　「食農フィールド基礎演習」（１単位）として成績評価後，派遣大学の学部長等に成績を通知する。単位認定は派遣大学の定めるところにより派遣大学で行う。

II．特別聴講学生とならない場合

　修了者には「受講証明書（成績評価付）」を発行する。その書類を以って所属する大学で単位として認められることを希望する学生は，事前に所属する大学の学務係等で確認すること。

キャンセル：定員があるため，受講を希望しても参加できない学生が出る可能性がある。このことを念頭に，直前になってキャンセルすることのないように日程等をよく検討してから申し込むこと。